

単元デザイン(1年 英語 科)

単元名 Program 8 Origami

(7時間扱い)

単元について

本単元では、日本文化の一つである折り紙を題材にしている。身近な日本文化の一つである折り紙の良さに触れることを通して、自国文化に対する関心や理解を高め、積極的に日本文化や地域について外国人へ発信しようとする態度を育てたい。単元のまとめとして、日本文化や地域について英語で紹介する活動を位置づける。『伝える』ことを目的とした活動を通して、コミュニケーションの基本である『話す』『聞く』力を高めるとともに、聞いたことについて質問をさせることで、『考える』力もつけさせたい。

言語材料としては、助動詞 can と疑問詞 how であるが、特に小学校で体験的に使ってきた can の言語活動を通して、より具体的な表現ができるようにしたい。

単元の指導目標

日本文化や地域について関心を高め、既習事項を用いて英語で伝えることができる。

単元の評価規準

- ①相手意識をもち、伝えたい内容を相手に伝えるための工夫をすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ②既習事項を用いながら、与えられた情報をもとに英語で紹介文を書いたり、原稿を見ないで紹介したりすることができる。 (外国語表現の能力)
- ③相手の話を聞いたり、紹介文を読んだりして、できること・できないことについて理解することができる。 (外国語理解の能力)
- ④助動詞 can や、疑問詞 how の働きや用法を理解し、正しく運用することができる。 (言語や文化についての知識・理解)

単元の計画

時間	本時の学習課題	対話的な活動	本時の振り返り	本時の評価規準
1	・can を使って、できることをたずねたり、答えたりしよう。	・ペア活動、グループ活動後に全体でシェアリングをする。	・can, can't を用いて自分や友達のできること、できないことについて書く。	・can の働きと用法について理解し、話したり書いたりすることができたか。(言語や文化についての知識・理解)
2	・移動手段をたずねたり、答えたりしよう。	・ペア活動、グループ活動後に全体でシェアリングをする。	・how を使って ALT に聞いてみたい質問を書く。	・how の働きと用法について理解し、話したり書いたりすることができたか。(言語や文化についての知識・理解)
3	・大介が折り紙が得意な理由を読み取ろう。また、ウッド先生の特技について読み取ろう。	・本文の内容についてグループで話し合ったり、音読をし合ったりする。また、全体でシェアリングをする。	・本文を読んで分かったことをまとめる。	・大介が折り紙が得意な理由や、ウッド先生の特技について読み取り、本文の内容を理解することができたか。(外国語理解の能力)
4	・ウッド先生は、どのようにして折り紙と出会ったのかを読み取ろう。	・本文の内容についてグループで話し合ったり、音読をし合ったりする。また、全体でシェアリングをする。	・本文を読んでウッド先生と折り紙の出会いについてまとめる。	・ウッド先生の折り紙との出会いについて読み取り、本文の内容を理解することができたか。(理解の能力)
5	・日本文化や、岩手の特産・観光地を紹介しよう。①	・紹介する項目についてグループで話し合いながら原稿を書く。	・折り紙、日本文化、岩手の特産、観光地の紹介文で、自分が担当する部分の英文を書く。	・既習事項を用いて、グループで分担しながら日本文化や岩手の特産・観光地を紹介する英文を書くことができたか。(外国語表現の能力)
6	・日本文化や、岩手の特産・観光地を紹介しよう。② (本時)	・原稿を直したり、つけ足したりしながら発表する英文を完成させ、リハーサルをする。	・リハーサルを通して、より良い発表にすることをまとめる。	・前時で書いた英文と、本時で修正した英文を比較しながら新しい原稿を作ることができたか。(外国語表現の能力)
7	・外国人に日本文化や岩手の良さをアピールしよう。	・最終リハーサルをする。それぞれグループの発表を聞き、交流し、お互いに評価しあう。	・それぞれのグループの発表を聞き、分かったことやよかった点をまとめる。	・相手意識をもち、伝えたい内容を相手に伝えるための工夫をすることができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

本時のねらい

日本文化や地域の特産・観光地への関心、理解を高め、既習事項を用いて英語でそれらを伝えることができる。

時間	学 習 活 動	指導上の留意点・授業スタイルとの関わり
導入 3分	<ul style="list-style-type: none"> 前時で書いた英文を言いながら、本時の学習につながる雰囲気作りをする。 (本時の学習課題) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 日本文化や岩手の良さを外国人に紹介しよう。② ～もっと伝わる発表のために工夫をしよう～ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ペアで言い合う。 (例)・ I can fold like this. ・ We can eat Maesawa beef there. ・ I can see the beautiful garden there. など
展開 37分	<ul style="list-style-type: none"> 全体で発表についての教師のモデルスピーチを見る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> (対話的な活動) 自分の担当する項目について、よりよい発表のためにグループでどのように説明するかを話し合い、原稿を膨らませる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 前時で書いた原稿に書き足す。 グループごとに発表をする。 (学習課題のまとめ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ①形容詞を使った表現や、対比させる表現、質問をつけ足しながら、聞いている人をひきつける工夫ができる。 ②声の大きさやアイコンタクト、ジェスチャーを工夫する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな工夫が必要か、モデルを聞きながら考える。(個) (例) Let's talk about Maesawa beef with us. Do you know restaurant Ogata? You can eat Maesawa beef there. It's delicious. Also, you can buy Maesawa beef there. It's not cheap, but you can feel happy! Let's enjoy Maesawa beef with us. Thank you. ○より良い発表を目指し、どんなことに気をつけるかを話し合う。(対話) ・グループで発表をする時は、文をつけ足して情報を加える(言語面)。また、声の大きさ、アイコンタクト、ジェスチャーに気をつけるように伝える(態度面)。
振り返り 10分	<ul style="list-style-type: none"> 授業の振り返りを記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 原稿を練り上げる活動を通して、前時の原稿と、本時の原稿で良くなった部分、発表時に特に気をつけたいことについて振り返る。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が担当した項目で新しく使用した英文を2文書させる。その後、本時の学習の振り返りを記述させる。(個) ・数名に発表させる。

本時の評価

前時で書いた英文と、本時で修正した英文を比較しながら新しい原稿を作ることができたか。(外国語表現の能力)